

令和元年ホヤ類調査結果速報 No. 6

令和元年 11 月 22 日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>】

11 月 11 日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は緩やかに減少しています（図 3 上）。付着個体数はホタテガイ 1 枚あたり 38.7 個体で平年並です（表 1、図 3 上）。
- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着重量は増加しています（図 3 下）。付着重量はホタテガイ 1 枚あたり 112.4g であり、平年を下回っています（表 1、図 3 下）。
- 付着個体数は平年並のため、付着個体の成長に伴い、付着重量は今後、平年並のペースで増加していくと考えられます（図 3）。
- 5mm 未満の個体は少なく（図 2）、新たな付着はあまり起きていないと考えられます。過去のデータから、今後も新たに付着する個体は少ないと見込まれます。

図 1 耳吊ホタテガイ（左）とヨーロッパザラボヤ（右） 令和元年 11 月 11 日 八雲地区



上層

中層

下層



耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ

問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・夏池 TEL：0138-83-2893

※この調査は北海道ほたて漁業振興協会からの委託研究により実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

【調査月日：11月11日、調査場所：八雲沖 水深約30m、上中下層 各5枚】

ホタテガイを上層、中層、下層ごとに5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を採取しました（図1）。ヨーロッパザラボヤの平均個体数はホタテガイ1枚あたり38.7個体、平均サイズは32.4mmです（図2、表1）。前回の調査（10日17日実施、48.1個体、26.3mm）と比較して個体数は減少し、平均サイズは大きくなっています（図2、図3上）。5mm未満の個体はほとんど見られず、新たに付着した個体は少ないと考えられます（図2）。付着個体の成長に伴い、付着重量は112.4gと先月（93.5g）から増加しています（表1、図3下）。付着重量の値は平年よりも低いですが、付着個体数は平年並であることから、今後、付着個体の成長に伴い、付着重量は増加していくと考えられます。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和元年11月11日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	249.9g	178.3g	161.7g	196.6g
ヨーロッパザラボヤ	114.6g	115.5g	107.1g	112.4g
その他	135.3g	62.8g	54.6g	84.2g
ヨーロッパザラボヤ個体数	45.8個体	37.0個体	33.2個体	38.7個体
平成30年11月（H30.11.24）の個体数	8.2個体	24.6個体	27.2個体	20.0個体
平成29年11月（H29.11.17）の個体数	8.6個体	49.8個体	47.4個体	35.3個体
平成28年12月（H28.12.5）の個体数	27.7個体	55.3個体	52.3個体	45.1個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和元年6月～11月）

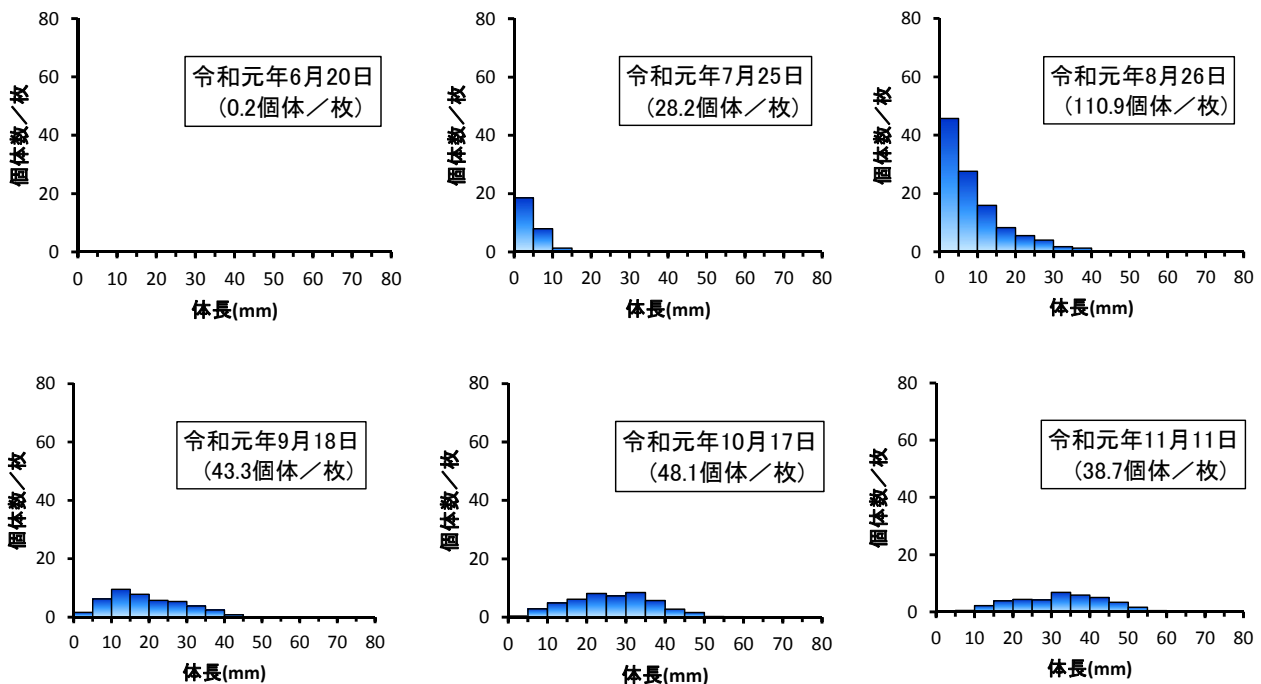
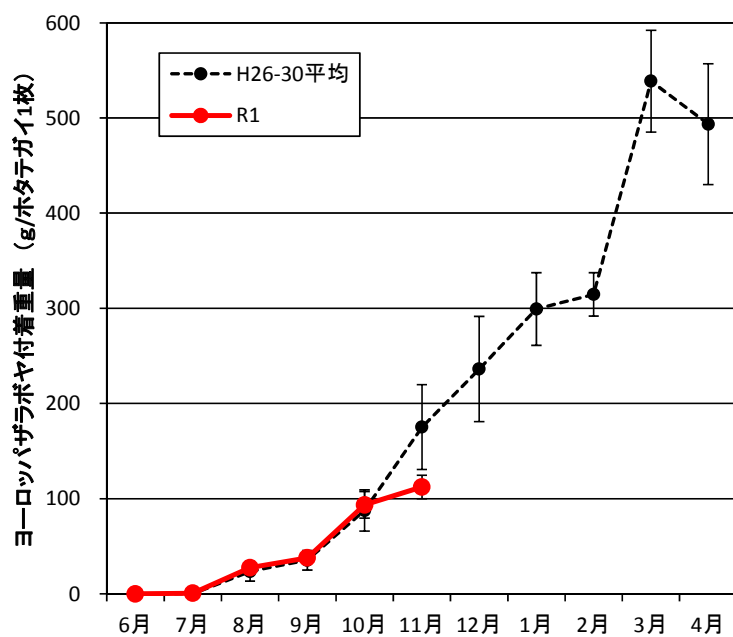
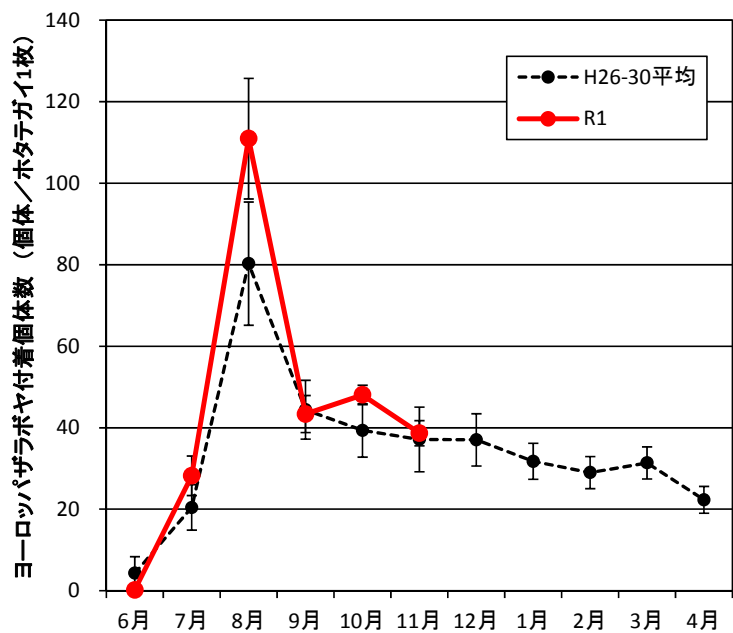


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）



上図：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

下図：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去5ヶ年（H26～30年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着は7～8月が中心となっています。付着重量は10月以降に急激に増加します。今年は11月の付着重量は平均値を下回っていますが、付着個体数は平年並みであり、今後は重量が増加していくと考えられます。